お母さんへ

　ぼくは、お母さんのわらった顔が大すきです。でも、いそがしい時は、まゆ毛にいっぱいしわが出ていやになります。お母さんがおこった顔になると、ぼくはかなしくておこれてしまいます。そういう時は、わらった顔にもどるといいなあと思います。だからぼくはたくさんお手つだいをします。

　お母さんはときどきかなしくてないている時があります。お母さんのなみだを見ていると、ぼくもかなしくなってなきたくなります。

　お母さんのわらった顔は、みか月みたいな口と細い目で、ぼくはとってもいい気もちになります。いつもにこにこしているお母さんでいてください。

　いろんな顔をするお母さんだけど、ぼくのべん強のお手つだいをしてくれたり、いつもすごくおいしいごはんを作ってもらっているから、かんしゃしていろいろがんばります。

ふじさわ栄輔より

応募時（静岡県８歳）藤澤栄輔